

まるとく液肥 [20kg 入り] シリーズ

硝酸性窒素の力、亜りん酸・アミノ酸・糖の力

作物の状態に合わせて、それぞれの液肥を組み合わせることで効果的に育ちます！



農林水産省登録 生第105483号



農林水産省登録 生第105482号



農林水産省登録 生第105485号

MEGUMI MINORI NAGOMI

まるとく液肥恵み

- 硝酸性窒素を含んでおり、低温期でも安定した肥効が得られます。
- 窒素成分としてアンモニア性窒素 (AN)、硝酸性窒素 (NN) 及び尿素性窒素 (UN) をバランスよく含んでおり、速効性と緩効性を併せ持つ液肥です。
- 亜りん酸
吸収性が高く、根群の充実や品質向上が期待できます。

まるとく液肥実り

- りん酸、カリウムが補給でき、特に開花期、結実期、果実肥大期に有効です。
- 糖 (グルコース)
植物のエネルギー源として働きます。
- 亜りん酸
吸収性が高く、根群の充実や品質向上が期待できます。

まるとく液肥和み

- 硝酸性窒素を含んでおり、低温期でも安定した肥効が得られます。
- 窒素成分としてアンモニア性窒素 (AN)、硝酸性窒素 (NN) 及び尿素性窒素 (UN) をバランスよく含んでおり、速効性と緩効性を併せ持つ液肥です。
- アミノ酸
グリシンとリジンの2種類を配合しています。
- 亜りん酸
吸収性が高く、根群の充実や品質向上が期待できます。



まるとく液肥シリーズ

MARUTOKU LIQUID FERTILIZER



使用方法

- 対象作物：野菜類・果樹類・花き類に使用できます。
- 土壌灌注：10アール当たり5～10kgを200倍以上に希釈して施用してください。
- 葉面散布：1000～2000倍に希釈して1～2週間に1回を目安に施用してください。

各種成分表

成分組成

製品名	保証成分(%)			含有成分
	窒素全量	水溶性りん酸	水溶性加里	
まるとく液肥恵み	10.0 (AN1.8 NN2.5)	3.0	4.0	亜りん酸
まるとく液肥実り	-	9.0	5.0	糖 亜りん酸
まるとく液肥和み	10.0 (AN1.0 NN1.5)	3.0	4.0	アミノ酸 亜りん酸

ECおよびpH

まるとく液肥シリーズの希釈液のEC

製品名	200倍	500倍	1000倍	2000倍
まるとく液肥恵み	1.81	0.81	0.46	0.29
まるとく液肥実り	0.86	0.39	0.25	0.19
まるとく液肥和み	1.83	0.82	0.48	0.30

まるとく液肥シリーズの希釈液のpH

製品名	原液	200倍	500倍	1000倍	2000倍
まるとく液肥恵み	3.30	5.97	6.38	6.64	6.85
まるとく液肥実り	2.78	3.63	5.61	6.16	6.46
まるとく液肥和み	4.14	5.67	6.25	6.53	6.76

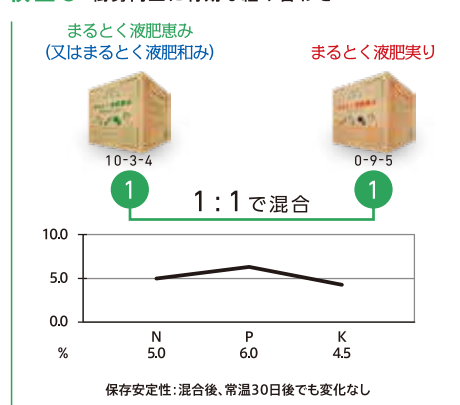
※水道水(EC 0.12、pH7.23) ※EC及びpHは、原水水質によって異なるため参考値です。

まるとく液肥シリーズの組み合わせ

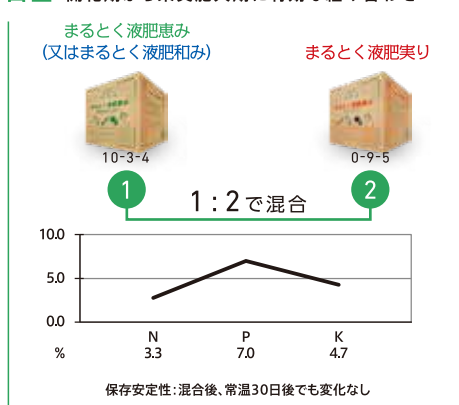
組み合わせでりん酸と加里を強化できます！

生育に応じて「まるとく液肥恵み」(又はまるとく液肥和み)に「まるとく液肥実り」を添加することで、りん酸と加里を強化することができます。

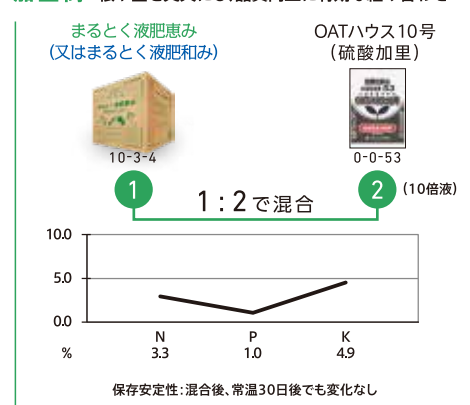
横並び 樹勢向上に有効な組み合わせ



山型 開花期から果実肥大期に有効な組み合わせ



加里高 根や茎を丈夫にし、品質向上に有効な組み合わせ



それぞれの混合が困難な場合は交互に給液してください。

△ 使用上・保管上の注意

1. アルカリ性資材とは混用しないでください。
2. 肥料以外の用途には使用しないでください。
3. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器の口を密封し冷暗所で保管してください。
5. 使用後は洗眼やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
6. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

7. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
8. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
9. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合のみご使用ください。
10. 希釈液は腐敗しやすいため、その日のうちに使いきってください。
11. 高温期における日中の葉面散布での使用はさけてください。
12. 氷点下になると結晶が発生したり、高温になる場所(温室など)では沈殿が発生するおそれがありますので、直射日光を避け、室内の冷暗所で保管してください。

取り扱い